

**第 1 章 離職者訓練用訓練課題の開発及びメンテナンスに
関する調査研究の概要**

第1章 離職者訓練用訓練課題の開発及びメンテナンスに関する調査研究の概要

1-1 研究の目的

離職者訓練の実施にあたって、訓練課題は教科書と共に核となる教材である。また、訓練受講者個々の技能・技術の習得度状況を確認するためにも訓練課題は重要なものである。

訓練科や訓練カリキュラムについては、技術革新等に伴う人材ニーズの変化等に対応し逐次見直しが図られている。その中でカリキュラムの見直しだけでは、訓練の均質性や訓練品質が担保できない。そのため訓練を担当する職業訓練指導員個々に委ねるだけでなく、これまで標準的な訓練課題の開発及びメンテナンスを図り、訓練の品質の向上と均質性の維持を図ってきたところである。

本調査研究では、訓練カリキュラムに合致し、かつ、訓練受講者個々の訓練効果を高めるため、訓練カリキュラムの見直しに併せて訓練のPDCAサイクルに沿った訓練課題の開発・改善を継続的に行うことを目的とする。

1-2 研究内容

全国の離職者訓練において、多く採用されているシステム・ユニット訓練の仕上がり像を調査して、その仕上がり像の訓練課題の整備をおこなってきた。今年度は、金属加工科、テクニカルメタルワーク科及び制御技術科を対象に訓練課題を開発する開発部会と各訓練系において現在までに開発、実施された訓練課題について、アンケート調査等の結果を踏まえ見直し等をおこなうメンテナンス部会の2つの研究会を開催して検討をおこなった。

また、平成24年度から導入されたジョブ・カードを活用した評価方法に対応するため、システム毎に訓練課題を準備する必要がある。現在公開されているものは73課題（機械系22、電気・電子26、居住25）である。6ヶ月の離職者訓練においては、2つの仕上がり像があり、6つのシステムから成っているため、1訓練科あたり6訓練課題が最低必要となる。それらの評価の考え方についての検討及び既存課題の開発・改訂をおこなった。

1-3 訓練課題の開発及びメンテナンス計画

(1) 訓練課題を開発する開発部会

各施設から提出された独自課題を収集し、新規作成分野の課題があれば、参考にして作成する。訓練科によっては仕上がり像の一部システムしか作成されていないものがあるので、選択科数の多い仕上がり像を中心に対応できていないシステムの訓練課題の作成を行う。

平成 24 年度については、以下の訓練科及び仕上がり像を対象に計画した。

■金属加工科 及びテクニカルメタルワーク科 仕上がり像 A、B の訓練課題の作成

■電気・電子系 制御技術科 仕上がり像 A、B、C の訓練課題の作成

そして、開発部会の基本的な取り組みフローは次のとおりである。(図表 1-1 参照) また、次項 1-4 開催スケジュールに実際の経過を記述している。

- 1 開発部会の設置 (担当分野ごとに複数の委員委嘱)
- 2 課題対象 (訓練科、仕上がり像) の選定、課題の内容、評価基準の設定・・・「第 1 回部会」
(訓練カリキュラムの参照、既存の訓練課題や施設独自の課題を参考に経験を踏まえて題材を検討する)
- 3 訓練課題の作成・・・「第 1 回及び第 2 回部会」
- 4 機構内協力施設による訓練課題の試行 (協力先の選定・依頼・課題提供、試行結果の報告)
※ 必要に応じて、協力施設等のヒアリング調査及び意見招集
(併せて、施設独自の課題、就職活動への活用事例などを伺う)
- 5 アンケート方式により試行結果と改善点を把握し、見直しを行う・・・「第 3 回部会」
(問題点の解決に向けて検討する)
- 6 新規作成課題の WE B 公開、利用促進
- 7 訓練課題の実施状況や問題点の情報収集

(2) 訓練課題を改訂するメンテナンス部会

先行研究である「離職者訓練における職業能力評価のあり方に関する調査研究」(平成 19 年～21 年度)において作成された 55 種類の訓練課題、及び本調査研究の 1 年目である平成 22 年度に開発した訓練課題を対象にした施設アンケート調査・実施結果調査(平成 22 年 8 月 30 日業務推進部調査役 事務連絡で依頼「離職者訓練の習得度測定における訓練課題(実技及び学科)の活用結果等に係るアンケート調査の協力依頼について」)を踏まえて、既存の訓練課題とその付属資料について見直しを行なう。また、各施設から独自課題が提出された場合は、全国に提供できる内容か精査して、付属資料一式を用意して、標準的な訓練課題となるように改訂する。

また、平成 24 年度から導入されたジョブ・カードを活用した評価方法に対応するため、システム毎の訓練課題をできるだけ多く準備する必要があり、実際に使用できる訓練課題を心掛けてメンテナンスすることとした。

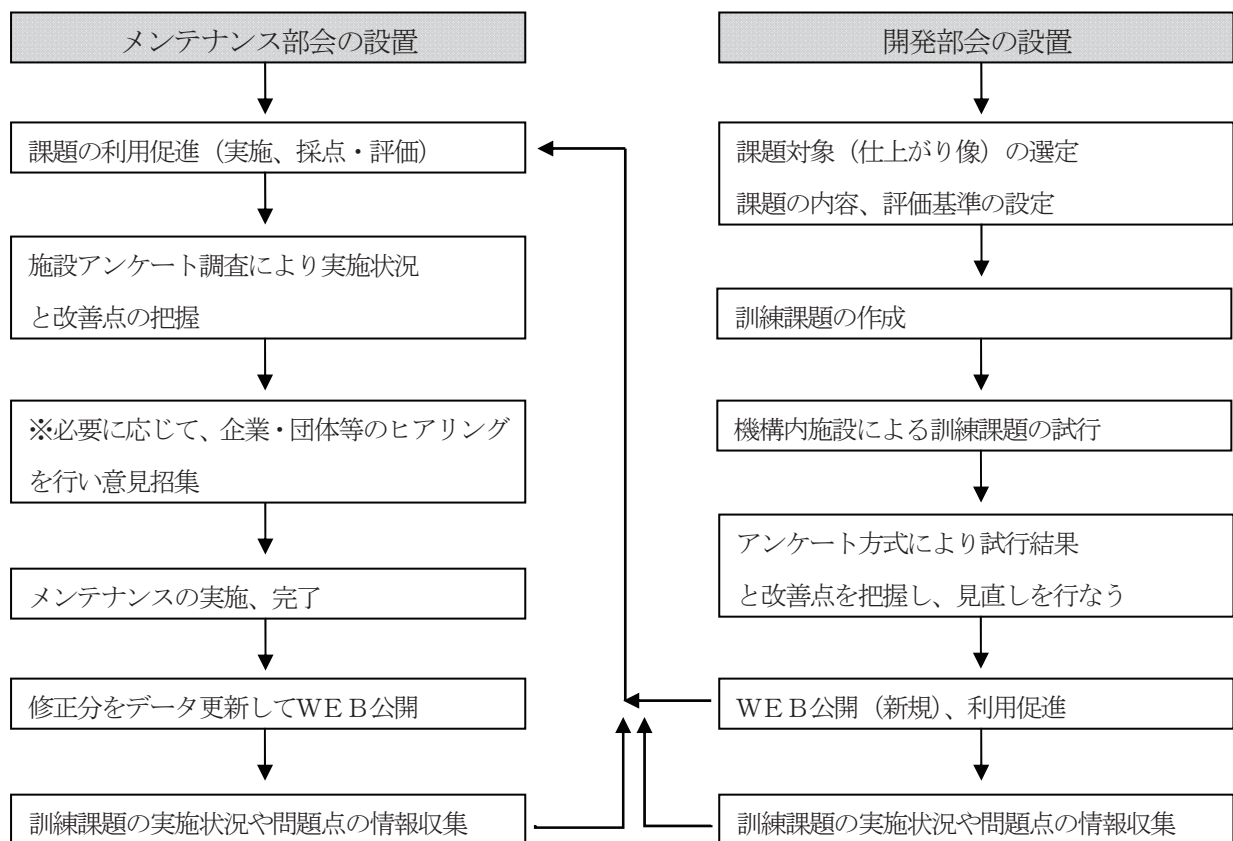
■訓練課題のメンテナンスは、アンケート結果の状況を見ながら、委員による検証に応じて対応する。また、メール等で修正対応を依頼する場合がある。なお、平成 22 年度に取り組んだ試行段階にある訓練課題(【機械系】普通旋盤、フライス盤)や平成 23 年度のアンケート結果のうち着手できなかった意見・要望を確認して、見直しを行なう。

■ 7つの担当分野（機械加工、金属・溶接、電気保全、電気工事、組込み、住宅、ビル設備管理）に分かれて、既存課題のメンテナンス及び新規の課題作成について取り組みを行う。

そして、メンテナンス部会の基本的な取り組みフローは次のとおりである。（図表1-1参照）また、次項1-4 開催スケジュールに実際の経過を記述している。

- 1 メンテナンス部会の設置（担当分野ごとに複数の委員委嘱）
- 2 課題の利用促進・・・「第1回部会」
（訓練課題の内容を見て実施してもらい、採点・評価までに至る工程を確認する）
- 3 施設アンケート調査により実施状況と改善点の把握
※ 必要に応じて、企業・団体等のヒアリング調査及び意見招集
（併せて、訓練内容に対するニーズや人材ニーズなどを伺う）
- 4 メンテナンスの実施・・・「第1回部会」
（問題点の解決に向けて検討する）
- 5 メンテナンスの完了（修正した訓練課題の内容確認、精査）・・・「第2回部会」
- 6 修正分をデータ更新してWEB公開
- 7 訓練課題の実施状況や問題点の情報収集

図表1-1 訓練課題の開発及びメンテナンスに係るフロー



1-4 開催結果概要

<離職者訓練用訓練課題開発部会>

① 第1回

日時：平成24年 6月 4日（月） 13時30分から17時

平成24年 6月 5日（火） 9時から15時

場所：職業能力開発総合大学校 基盤整備センター L21

議題：

(1) 「離職者訓練用訓練課題の開発及びメンテナンスに関する調査研究」の概要について

(2) 訓練課題の新規作成について

1) 施設からの独自訓練課題を検証し、新規訓練課題に採用できるか検討

2) 担当分野について、実技課題・筆記課題の新規作成

■施設独自の訓練課題に関する情報提供を依頼した

■施設からの独自訓練課題を確認して、採用の可否を検討した

■新規訓練課題の作成計画を立案して、作成期限を8月末とした

② 第2回

月日：平成24年 9月10日（月） 13時30分から17時

平成24年 9月11日（火） 9時から15時

場所：職業能力開発総合大学校 基盤整備センター L21

議題：

(1) 作成した訓練課題の内容確認、精査について

■作成中の14の訓練課題について、資料が9月上旬に提出された(未提出4)

■付属資料に未完成があり、部会を通じて9月下旬までに完成させる

(2) 訓練課題の試行実施の検討について

■試行に係るアンケート調査票及び依頼文書を完成させる

■該当施設に対して試行及びアンケートの協力依頼を行なう

■開発した16課題の試行期間は、10月～12月末とした

■対象51施設に協力依頼して、約90件のアンケート結果の回答があった

③ 第3回

月日：平成24年12月 6日（木） 13時30分から17時

平成24年12月 7日（金） 9時から15時

場所：職業能力開発総合大学校 基盤整備センター L21

議題：

- (1) アンケート結果による訓練課題の検証、見直しについて
- (2) その他（進捗状況と今後の予定）

- 試行実施のアンケート結果について、12月中旬及び末日の状況を提供する
- アンケート結果による見直し修正した課題データは1月中旬までに提出する
- 研究部会を通しての感想や要望を各委員から簡単に確認した

<離職者訓練用訓練課題メンテナンス部会>

① 第1回

日時：平成24年 8月 6日（月） 13時30分から17時

平成24年 8月 7日（火） 9時から15時

場所：職業能力開発総合大学校 基盤整備センター L21

議題：

- (1) 「離職者訓練用訓練課題の開発及びメンテナンスに関する調査研究」の概要について
 - (2) 訓練課題のメンテナンスについて
 - 1) アンケート結果や委員の検証による既存課題の修正
 - 2) 既存課題（筆記）を検証して、「実技能力を問う課題」として見直しする
 - 3) 既存課題が訓練到達目標に達していることを評価できる課題であるか検証する
- 当機構の対象施設に訓練課題の改善に向けたアンケート調査を依頼した
 - アンケート調査の提出期限に合わせて、既存課題の修正期限は9月末、及び11月末とした。

② 第2回

月日：平成24年11月1日（木） 13時30分から17時

平成24年11月2日（金） 9時から15時

場所：職業能力開発総合大学校 基盤整備センター L21

議題：

- (1) 修正した訓練課題の内容確認、精査について
- (2) アンケート結果による訓練課題の検証、見直しについて
 - 1) アンケート結果や委員の検証による既存課題の修正
 - 2) 既存課題（筆記）を検証して、「実技能力を問う課題」として見直しする
 - 3) 既存課題が訓練到達目標に達していることを評価できる課題であるか検証する

- 訓練課題の改善に向けて、約195件のアンケート結果の回答があった
- 既存課題（筆記）を検証して、「実技能力を問う課題」として見直しする。
- 評価判定の基準を明確にして、いずれかの資料中に記載する
- 修正途中の訓練課題を完成させて、11月中旬から末日までに提出する。

1-5 ヒアリング調査概要

(1) 訓練課題の実施状況に係るヒアリング

内容：全国的に設置科の少ない訓練科（仕上がり像）を中心に実施状況について

：施設独自の訓練課題の使用状況確認について

：テキスト、実習教材について、施設見学、等

- ① 群馬職業訓練支援センター（電気設備サービス科）
月日：平成25年 2月26日（火）13時から16時
- ② 愛媛職業訓練支援センター（生産システム技術科、組込みマイコン技術科、ほか）
月日：平成25年 2月28日（木）11時から16時
- ③ 茨城職業訓練支援センター（組込みマイコン技術科、電気・通信施工技術科、ほか）
月日：平成25年 3月 1日（金）14時から17時
- ④ 長野職業訓練支援センター（生産システム技術科）
月日：平成25年 3月 5日（火）13時から16時
- ⑤ 新潟職業訓練支援センター（金属加工科、テクニカルメタルワーク科）
月日：平成25年 3月 6日（水）13時から16時